

福 議 委 号  
令和3年11月15日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

経済福祉常任委員会  
委員長 佐藤 孝男



所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、令和3年9月13日福島町議会定例会9月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第148条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	10 所管関係施設・事業等の町内視察・執行方針の取り組みについて
調査期間	令和3年10月29日
出席委員	委員長 佐藤 孝男 委員 平沼 昌平 委員 平野 隆雄 副委員長 藤山 大 委員 小鹿 昭義 委員 溝部 幸基
出席説明員	町長 鳴海 清春 産業課長 福原 貴之 福祉課長 小鹿 浩二 企画課長 住吉 英之 副町長 工藤 泰 町民課長 村田 洋臣 建設課長 紙谷 一 認定こども園福島保育所長 吉能 佳織
議会事務局職員	事務局長 鍋谷 浩行 主査 中島 和俊 係長 福井 理央

## [委員会意見]

### 調査事件 10 所管関係施設・事業等の町内視察・執行方針の取り組みについて (令和3年10月29日調査)

10月29日に本委員会を開催し、普通河川館の沢川河道整備事業など4事業を視察調査し、令和3年度執行方針の取り組み状況を確認したので、調査結果を次のとおり報告する。

#### 【論点とした調査項目・意見】

#### 1 所管関係施設・事業等の町内視察

##### (1) 普通河川館の沢川河道整備事業(建設課)

近年、北海道でも局地的な集中豪雨による河川の氾濫が多発していることから、町内各河川において過去の災害発生場所等を確認し、計画的に河道整備を進められたい。

##### (2) 町道神明町1号線整備事業(建設課) 特になし。

##### (3) 町道豊浜1号線整備事業(建設課)

道路拡幅により、交通安全や除排雪作業の改善に資する道路となった。

##### (4) 空家等対策支援事業(特定空家行政代執行)(建設課)

危険空家に係る行政代執行により隣接する住宅の方の不安は解消されたが、付近には、未だ危険な空家があることから、定期的なパトロールと解体に向けた事務を進められたい。

#### 2 執行方針の取り組み状況について

##### (1) 産業の再生による雇用の創出

##### ① 第2種吉岡漁港の漁港機能保全事業について(産業課水産係) 特になし。

##### ② 森林組合に対する町の支援状況について(産業課農林係)

森林組合の要望に基づき、令和4年度から地域おこし協力隊を採用することであるが、再建計画では事務局に経営の専門家を採用するとしていたはずであり、不明朗な事務処理による財務改善(再建計画)に至る過去の経緯から、現状が懸念される点を指摘する。

地域おこし協力隊の採用に当たっては任用期間3年後のフォローアップを考えておくべきと思慮する。

伐期が来た杉等については、私有林・町有林に関わらず森林組合と連携を図

り、積極的な活用を検討願いたい。

今年1月27日本委員会の調査で提示された再建計画の決算見込み数値が、大きく変わっている。町が関与している再建計画下であり、変更の状況を、分析も含め議会に報告すべきであると思慮する。職員体制の強化・充実とともに注意されたい。

③ 森林環境譲与税基金を活用した事業の実施状況について（産業課農林係）

森林環境譲与税は、令和6年度から個人住民税の枠組みの中で徴収されることになるが、賦課に当っては税の使用目的も含め理解を得られるよう町民へ周知されたい。

④ 今年度の広域基幹林道島前線改良事業について（産業課農林係）

改良事業は、令和6年度完成予定で、現在でも車両の通行が可能とのことから、災害発生時における代替道路としての使用方法等について、松前町と工事の竣工を待つことなく早急に協議を進めるべきと思慮する。

⑤ 商工会実施事業・町内企業活動への支援状況について（産業課商工観光係）

特になし。

(2) 若者の定住対策・子育て環境の充実

① 保育士の確保対策について（認定こども園福島保育所）

現在の保育士募集は、専門学校や短期大学等への訪問が主であり、長期間、応募者が居ない現状から、直接生徒にアピールするなど新たな手法を検討すべきと思慮する。新卒者にこだわらず、育児等で一時保育士業務から遠ざかった有資格者の掘り起こしなど、幅広く行うことで、適切な職員体制の構築を進められたい。

② 若者・子育て賃貸住宅整備、定住促進住宅整備プロジェクトの進捗状況について

ア 若者・子育て賃貸住宅整備プロジェクトの進捗状況について（建設課）

特になし。

イ 定住促進住宅整備プロジェクトの進捗状況について（企画課） 特になし。

(3) がん予防の対策の充実

① 各種がん予防対策について（福祉課）

各種がん検診の受診者数は毎年ほぼ変わらないことから、ほぼ同じ人が受診していると推察される。答弁でも健康に気をつけている人は、毎年、健康診断

や各種がん検診等を受診する傾向にあるとのことであり、がん等の予防対策を進めるためにも、未受診者の掘り起こしと受診勧奨を促進されたい。かかりつけ医による個別検診等、受診しやすい環境づくりをさらに進め、「がん」が発見された人へのフォローアップ体制等も検討すべきと思慮する。

#### (4) 高齢者等の安心安全な生活環境の充実

① 危険空家に係る行政代執行の状況について（建設課） 特になし。

② 不法投棄の未然防止の取り組みについて(町民課)

不法投棄監視カメラで判明した者は、警察に通報し適切に対応しているとのことであるが、尚、不法投棄が見受けられる。今後とも、監視カメラでの町内各所の監視や環境監視員による巡視活動により、不法投棄の未然防止に取り組まれない。